



第1回「地方行政と男女共同参画をめざす社会の動き」
講演される文京女子大学教授 山下泰子さんと講座生

政策・方針決定の場へ 参画するために

男女共同参画社会基本法が施行されて二年余り。女性の積極的登用が叫ばれ、審議会などへの女性の参画が進んでいます。県では、審議会などに占める女性の構成割合を、現在の25%から、平成14年度までに30%に伸ばす目標を掲げ、審議会などにおける女性の役割もいっそう重要性を増しています。そこで、審議会などで女性がより説得力のある発言をし、より多くの女性の参画を目指して、政策決定参画カレッジが開催されました。

その第1回は文京女子大学教授の山下泰子さんを講師に「地方行政と男女共同参画をめざす社会の動き」というテーマで学びました。前半は男女共同参画への国連の動き、日本の動き、日本の今後の課題、男女共同参画社会基本法などについての講義、後半は静岡県男女共同参画推進条例を他県と比較しながらのグループディスカッションでした。前半の講義では「男女雇用機会均等法」が、経済界の

抵抗と企業活動における女性差別撤廃を要求する女性団体との間で揺れ、制定されたものの、その不十分さゆえに当の労働省婦人少年局も「みにくいあひるの子」と呼んだという逸話が紹介されました。しかし、その後、均等法は男女差別の禁止に向けて改正され、「女性差別撤廃条約」は現在「選択議定書」批准に向かっているという経緯が説明されました。

後半のディスカッションでは、活発な意見交換がみられ、県の条例について厳しい意見も出されました。県の条例も、今回のこのような討議が重ねられることにより、より関心が高まっていくのではないのでしょうか。

ディスカッションへの山下さんの講評では、受講者の条例に対する解釈が、男女共同参画の視点からみると全く反対であるという考え方が示される場面もあり、今後の活動でも資料的確に読みとくとき、言葉に惑わされたり、固定観念に縛られたりしないことの重要さが感じられました。

講座はこの後、「男女共同参画の考えを反映させるための手法を身につける」「すぐに役立つ意見発表の手法、説得力のある話し方を身につける」と続けました。「男女共同参画社会実現のためネットワークを広げましょう」という参加者からのメッセージがありましたが、今回の受講者を先頭に男女共同参画の輪が広がってほしいものです。

静岡県男女共同参画推進条例

平成13年7月24日公布
静岡県条例第46号

目次

前文

第1章 総則(第1条―第5条)

第2章 男女共同参画の推進に関する総合的対策
(第6条―第13条)

第3章 静岡県男女共同参画会議(第14条―第16条)

付則

男女の人權が性別にかかわらず尊重され、かつ、少子高齢化の進行、情報化や国際化の進展など社会経済情勢の変化に対応できる真に豊かで活力ある社会に向けて、男女共同参画社会の実現は、21世紀の最重要課題であるとともに、私たちがすべての願ひである。

静岡県では、県民の協力を得て男女共同参画の推進に関する様々な施策を実施してきたが、職場、学校、地域、家庭など社会のあらゆる分野において、根深く残る性別による固定的な役割分担意識とそれに基づく社会慣行の是正や政策及び方針の決定過程への女性の参画促進などの取組をより一層進めていく必要がある。

このため、私たちは、互いにその個人としての尊厳を重んじ、男女が社会の対等な構成員として、自らの意思により社会のあらゆる分野における活動に参画し、共に責任を分かち合う男女共同参画社会の実現に向けて、県、市町村及び県民の連携、協働の下に、その取組を力強く推進することを決意して、この条例を制定する。

第一章 総則

【目的】

第1条 この条例は、男女共同参画社会基本法(平成11年法律第78号)に規定する基本理念のっとり、男女共同

参画の推進に関し、県及び県民の責務を明らかにするとともに、県の基本的施策を定め、これを総合的かつ計画的に推進し、もって男女共同参画社会を実現することを目的とする。

【定義】

第2条 この条例において「男女共同参画」とは、男女が、性別にかかわらずその個性と能力を十分に発揮する機会が確保されることにより、社会の対等な構成員として自らの意思により職場、学校、地域、家庭その他の社会のあらゆる分野における活動に参画し、共に責任を担うことをいう。

2 この条例において「積極的格差改善措置」とは、前項に規定する機会に係る男女間の格差を改善するため必要な範囲内において、男女のいずれか一方に対し、当該機会を積極的に提供することをいう。

【県の責務】

第3条 県は、男女共同参画の推進に関する施策(積極的格差改善措置を含む。以下同じ。)を総合的に策定し、及び実施する責務を有する。

2 県は、市町村が実施する男女共同参画の推進に関する施策及び県民が行う男女共同参画の推進に関する活動を支援するため、情報の提供、助言その他必要な措置を講ずるよう努めるものとする。

3 県は、第1項に規定する施策を総合的に策定し、及び実施するために必要な体制を整備するとともに、財政上の措置を講ずるよう努めるものとする。

【県民の責務】

第4条 県民は、性別による差別的取扱いをしなざること、男女の固定的な役割分担意識に基づく制度及び慣行を見直すことその他の取組により男女共同参画を推進する

読者アンケートにご協力ください
点線で切り取り、切手をはって送ってください。
ご意見・ご感想も、お待ちしております---

FAX

TEL

〒 市 区 町 村
都 道 府 県

年 齢 歳
※ 差し支えなければ
例記入ください。

お名前(ふりがな)
ご住所

『ねっとわあく』編集係 行

静岡県女性総合センター

静岡市馬淵1丁目17-1

4 2 2 8 0 6 3

50円切手
をお貼り
ください。

郵便がはがき

とともに、県が実施する男女共同参画の推進に関する施策に協力するよう努めなければならない。

2 県民は、男女間の暴力及びセクシユアル・ハラスメント(性的な言動により相手方を不快にさせその者の生活環境を害すること又は性的な言動に対する相手方の対応によりその者に不利益を与えをいう。以下同じ。)を根絶するよう努めなければならない。

3 県民は、情報を公表するに当たっては、性別による差別、男女間の暴力及びセクシユアル・ハラスメントを助長する表現を用いないことを旨としなければならない。

【民間の団体の責務】

第5条 民間の団体(事業者を含む。以下同じ。)は、前条に規定するもののほか、次に掲げる事項を行うよう努めなければならない。

- (1) 当該団体における方針の決定過程に男女が共同して参画する機会を確保すること(積極的格差改善措置を含む)。
- (2) 当該団体を構成する男女が、当該団体における活動と家庭生活その他の分野における活動とを両立して行うことができるよう配慮すること。

第2章

男女共同参画の推進に関する総合的対策

【基本的施策】

第6条 県は、男女共同参画を推進するため、次に掲げる基本的施策を実施するものとする。

- (1) 男女の固定的な役割分担意識に基づく制度及び慣行の見直し並びに男女が共に社会に参画するための意識の改革を進めること。
- (2) 男女の人權の尊重及び男女平等の推進に関する学校教育その他の教育を充実すること。
- (3) 県及び市町村における政策の決定過程並びに民間の団体における方針の決定過程への女性の参画

の拡大を促進すること。

(4) 家族を構成する男女が、互いに協力し、子の養育、家族の介護等について家族の一員としての役割を円滑に果たすことができるよう、社会環境の整備を進めること。

(5) 職場における男女の均等な機会及び待遇の確保、男女の職業生活と家庭生活その他の生活との両立の支援並びに多様な働き方が可能となる就業環境の整備を進めること。

(6) 男女が、共に国際社会及び地域社会の員として、様々な活動に参画することができるよう支援すること。

(7) 男女間の暴力及びセクシユアル・ハラスメントを根絶するよう積極的な対応を図ること。

(8) 産む性としての女性が、自ら健康の保持及び増進を図ることができるよう支援すること。

(9) その他男女共同参画を推進するために必要な施策

【基本計画の策定】

第7条 知事は、男女共同参画の推進に関する施策を総合的かつ計画的に実施するため、男女共同参画基本計画(以下「基本計画」という。)を策定するものとする。

2 基本計画は、次に掲げる事項について定めるものとする。

(1) 総合的かつ長期的に講ずべき男女共同参画の推進に関する施策の大綱

(2) 男女共同参画の推進に関する施策を計画的に実施するために必要な目標数値

(3) 前2号に掲げるもののほか、男女共同参画の推進に関する施策を総合的かつ計画的に実施するために必要な事項

3 知事は、基本計画を策定するに当たっては、あらかじめ広く県民の意見を聴くとともに、静岡県男女共同参画会議に意見を求めるものとする。

4 知事は、基本計画を策定したときは、これを公表しなければならない。

5 前2項の規定は、基本計画の変更について準用する。

アンケート ○をつけてください。

■どちらで入手されましたか。(DMに○をつけてください。)

DM・その他 ()

■「ねっとわあく」をお読みになるのは初めてですか。

初めて・ () 回目・毎号

■どの企画に興味を持たれましたか。

() () () () ()

■これから取り上げて欲しい企画や今号のご感想、その他ご意見などがありましたら何でもご記入をお願いします。

ご協力ありがとうございました。
メッセージを「ねっとわあく」誌上でご紹介する場合があります。
ペンネームをご希望の方は、記入してください。
(ペンネーム)

編集の参考にさせていただきます。

また、「読者の声」の中で、読者のみなさま同士
ささやかな心の交流ができれば、うれしいです。

●ご意見をお寄せくださった方の中から、抽選で県内の
美術館の入場券・入場割引券をプレゼント

【年次報告】

第8条 知事は、毎年、男女共同参画の状況及び男女共同参画の推進に関する施策の実施状況について報告書を作成し、これを公表するものとする。

【広報活動】

第9条 知事は、男女共同参画に関する県民の理解を深めるために必要な広報活動を行うものとする。

【男女共同参画の日】

第10条 県は、県民の間に広く男女共同参画についての関心と理解を深めるとともに、積極的に男女共同参画の推進に関する活動を行う意欲を高めるため、男女共同参画の日を設ける。

2 男女共同参画の日は、7月30日とする。

3 知事は、男女共同参画の推進に関する取組を積極的に進めているものの顕彰その他の男女共同参画の日の趣旨にふさわしい事業を実施するものとする。

【苦情又は相談の申出の処理】

第11条 知事は、県が実施する男女共同参画の推進に関する施策若しくは男女共同参画の推進に影響を及ぼすと認められる施策又は性別による差別的取扱いその他男女共同参画の推進を阻害する要因による人権の侵害に関する県民からの苦情又は相談の申出に対して、関係機関と協力して適切な処理を行うものとする。

2 知事は、前項の申出を処理する職員を置くものとする。

【民間の団体の協力】

第12条 知事は、男女共同参画の推進に関し必要があると認めるときは、民間の団体に対し、男女共同参画に関する取組状況について資料の提出その他の協力を求めることができる。

【調査研究】

第13条 知事は、男女共同参画の推進に関する施策を策定し、及び実施するため、必要な調査研究を行うものとする。

第3章 静岡県男女共同参画会議

【設置及び所掌事務】

第14条 県に、静岡県男女共同参画会議（以下「参画会議」という。）を置く。

2 参画会議は、次に掲げる事務を行う。

- (1) 基本計画に関し、第7条第3項に規定する意見を述べること。
- (2) 知事の諮問に応じ、基本的かつ総合的な男女共同参画の推進に関する施策及び重要事項を調査審議すること。
- (3) 県の男女共同参画の推進に関する施策の実施状況及び第11条第1項に規定する県民からの苦情又は相談の申出に対する処理について、知事に意見を述べること。
- (4) 前3号に掲げるもののほか、男女共同参画に関する重要事項について、知事に意見を述べること。

【組織及び委員】

第15条 参画会議は、知事が任命する委員20人以内で組織する。

2 男女のいずれか一方の委員の数は、委員の総数の10分の4未満としないものとする。

3 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

4 委員は、再任されることができる。

【委任】

第16条 この章に定めるもののほか、参画会議に関し必要な事項は、知事が定める。

附則

この条例は、公布の日から施行する。

読者の声

38号特集「転機」にお寄せいただいた声をご紹介します。

●今回、初めて「ねっとわあく」を手に入りました。特集の中に取り上げられている方々の元気な笑顔や前向きな考え方に、大きなパワーをいただきました。私も彼らに負けないよう頑張りたい！
掛川市 モスグリーン

●初めて手に入りました。いつも購入しているどら焼き屋さんが、こんな風に人生送っていたなんてなんて素敵でしょう。本音の話がよめる企画すばらしいです。今後とも頑張ってください。
静岡市 ケイ

●定年退職を直前にしています。転機です。好機にするには、どうしたらと考えます。好機にしたいものです。読み直しました。好機にする為に。
富士市 勝浦 正志

ご意見・ご感想を
おはがき、FAX、e-mailで、
是非お寄せください。

e-mail/ azarea@shizuokanet.ne.jp

fax/ 054-255-9266

ありがとうございました

編集後記

知事へのインタビュー。1時間たっぷり話してくださったお話も誌面の都合で一部しか掲載できないのが残念です。あの日「時代の流れは思っている以上に早く、努力次第ではもっと早く変わる、皆さんもあきらめないでください」と励まされて県庁を後にしました。

浜北市 岩下智子

助産婦の小柳布佐さんは、太陽のような方で、話を聞いているだけで、こちらも元気になりました。取材をさせていただいた多くの方たちに感謝します。男女共同参画にはいろいろな人の意識の変化が必要だと痛感。

静岡市 田中貴子

泣きながら読んだDV実例集。出口の見えない現実を必死に生きている女性たちがいます。家庭という密室で起こる暴力は、子どもをも巻き込んで複雑な根の深い問題になっています。自分と他者の「人権」を守っていくことの難しさや尊さを痛感した暑い夏でした。

静岡市 前田純代

小林美和子さんの取材で「ウイナーをカニさん、タコさん、らせん状に切ったり工夫しています」と夫の一郎さんがつくるお弁当は子どもたちに大人気。互いを認め合い本音で生きているご夫婦の姿はちょっぴり羨ましい。選択肢は多いほうがいい。自由な視点で自分の意識から変えていこう。

静岡市 久保田さきの

カタイテーマの中から何か「ねっとわあく」らしさを見出せないかと「女と男(ひととひと)」に悩みながらもパソコンに向かっていた夏の日。「話しかけてもいい?」と声がかして振り向けばまじまじと私を見つめて立っている娘と息子。結局一番カタかったのは原稿を前にした私の顔ということですか…。

静岡市 塚越直子

「ねっとわあく」は県民から公募したレポーターが、企画編集しています。

編集アドバイザー 大国 田鶴子さん

発行 平成13年10月

編集 静岡県生活・文化部男女共同参画室
静岡県女性総合センター

住所 〒422-8063 静岡市馬淵1丁目17-1

TEL054-250-8107

FAX054-255-9266

『ねっとわあく』は年2回発行(3月、10月)
県行政センター、県内女性センター、市役所、
公立図書館、公民館、文化会館、総合病院
などで配布しています。